



学校だより

流山市立西初石小学校
 校長 塩野 述子
 在籍児童数 776名
 教育活動アンケート特別号
 令和2年 1月31日

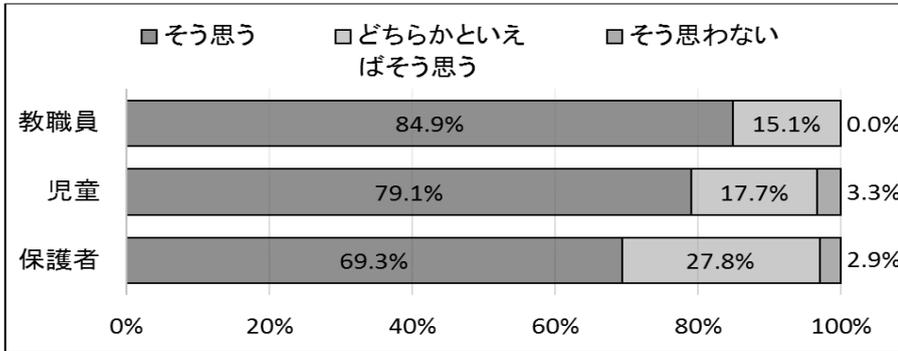
教育活動アンケート集計結果・考察特集

今回の学校だよりでは、令和元年12月2日～12月13日に実施しました、教育活動アンケート調査の結果とその考察についてご報告いたします。

アンケートは、児童については、全校児童777名を対象にアンケート用紙を配付し、771名が回答（回答率99.2%）しました。保護者の方からは全家庭605件中、560件より回答をいただき、回収率は92.6%でした。教職員については、臨時職員を含み、全職員を対象に行いました。

1、結果と考察

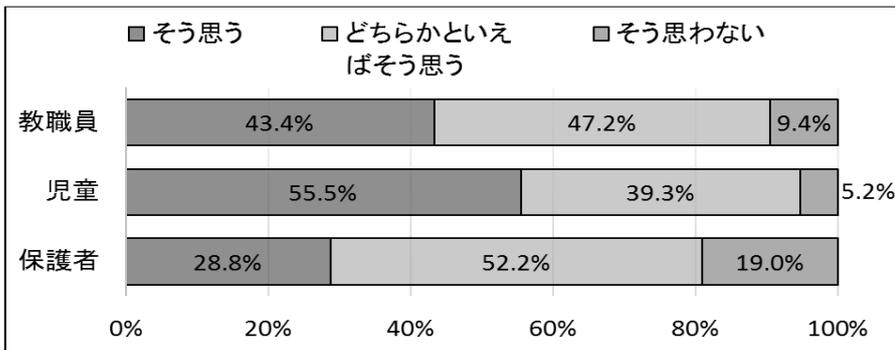
(1)、教職員・児童・保護者：楽しく学校に通っていると思いますか。



児童・保護者とも、過去5年間で最も良い結果であったことをうれしく思う一方、児童も保護者も「そう思わない」と課題のある回答がほぼ同じ割合で見受けられます。どの子も楽しく通える学校を目指し、温かい声かけや、学ぶ楽しさを感じる授業、個に応じた対応等に、今後も力を注いでいきたいと思ひます。

(2)、教職員・保護者：西初石小学校の児童は、あいさつをよくしていると思いますか。

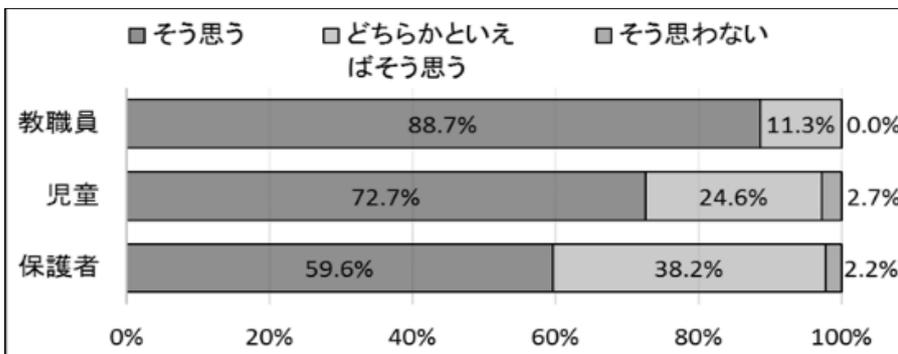
児童：あなたは、友達や先生、地域の方によくあいさつをしていますか。



児童の結果に比べ、教職員や保護者については、全設問の中で「そう思う」が最も低い数字で表れた項目です。ただ、多くの児童が「あいさつをしている」と思っていますので、「やる気」というよりもあいさつの「質」の問題ととらえ、私たち大人が「良いあいさつ」を指導し、向上を目指していきたいと思ひます。家庭・地域と連携し、進んであいさつのできる児童を育てていきたいと思ひますので、引き続きご指導をよろしくお願ひします。

(3)、教職員・保護者：学校は、異学年とのふれあい活動や学級活動をはじめ、思いやりや社会性を育てようとしていると思いますか。

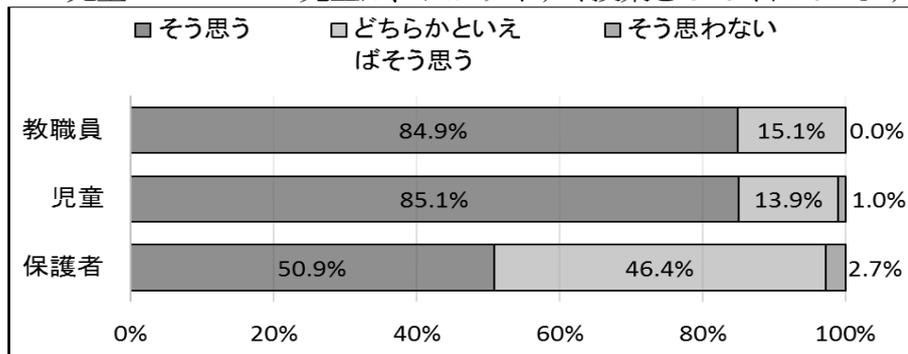
児童：あなたは、ふれあい学級やクラスでは、約束を守り、友だちと協力していますか。



異学年で交流給食・交流遊びをするふれあい学級は、本校の特色ある取り組みの一つです。高学年はリーダーとして、中学年は協力し盛り上げる、低学年は楽しみ感謝する、という目標の活動が、教師・児童だけでなく、保護者からの肯定的な回答が約98%と高く、うれしく感じます。この活動の教育的価値を考え、今後も良い活動にしていきたいと思ひます。

(4)、教職員・保護者：学校は、学年に応じた、わかりやすい授業を行っていると思いますか。

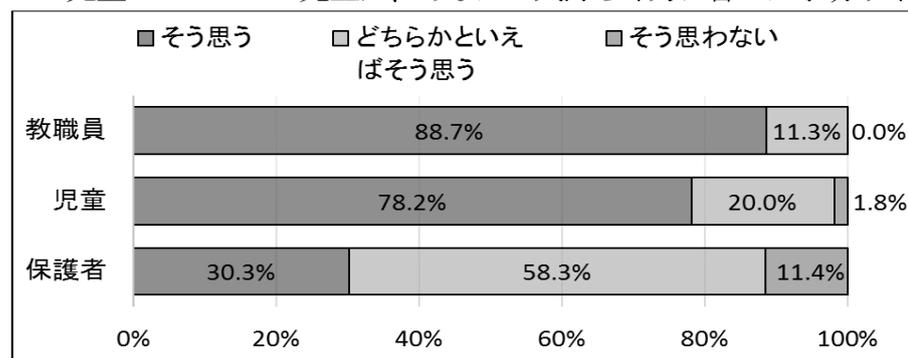
児童：先生は、わかりやすく授業をしてくれていますか。



児童の「そう思う」が昨年に引き続き、最も高かった設問です。全校での授業研究による教師の授業力の向上を図る取り組みや高学年の交換授業、サポート教員・算数指導員・A L T・英語活動指導員・少人数指導教諭等の活用、I C Tを取り入れた指導、地域人材の活用等、さまざまな方法でわかりやすい授業づくりに努めていることが、伝わったと感じます。今後も、授業力の向上に努めていきます。

(5)、教職員・保護者：学校は、個の特性に応じた教育的支援に努めていると思いますか。

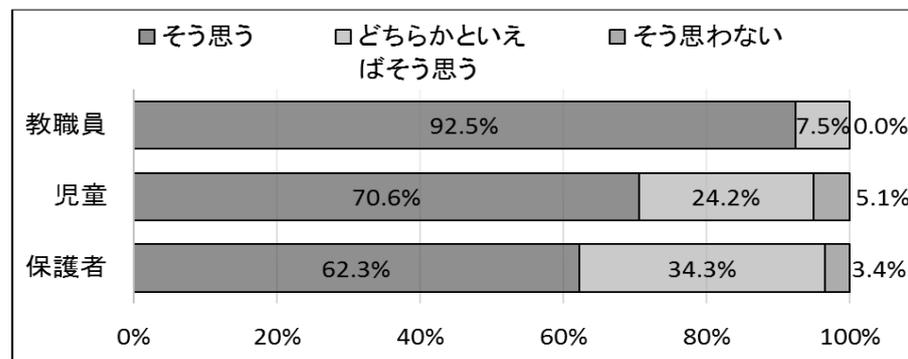
児童：先生は、あなたの気持ちや力に合った手助けや指導をしてくれていると思いますか。



児童の肯定的な回答こそ年々向上しているとは言え、保護者の「そう思わない」の回答が「あいさつ」の設問同様、厳しい結果となっています。本校では、必要に応じて個別の指導計画の作成、サポート教員・指導員による支援、専門家の助言・指導等、個への支援に努めています。今後も保護者との協力・連携のもと、子どもたちの支援について、研鑽を積んでいきたいと思っています。

(6)、教職員・保護者：学校は、運動会や持久走、部活動をはじめ、体力や気力の向上に取り組んでいると思いますか。

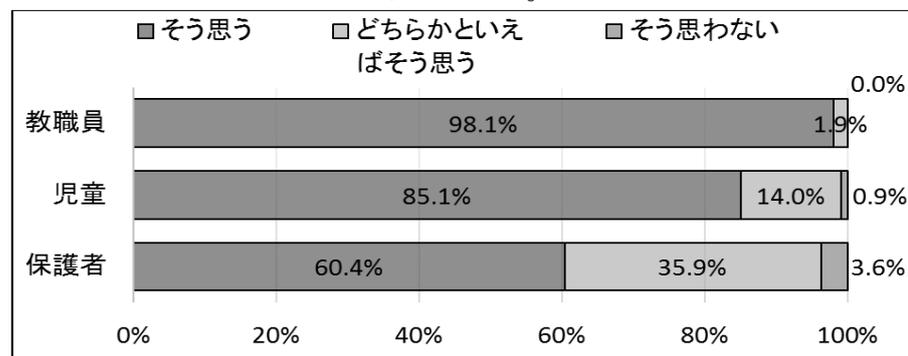
児童：あなたは、運動会や持久走、部活動で、体力やがんばる気持ちを身につけることができましたか。



本校では、生きる力につながる体力の向上に力を入れており、その取り組みを三者とも肯定的にとらえていることがわかります。西初タイムやロング昼休みでの外遊びの奨励や、県の「遊・友スポーツランキンギングちば」への参加等、運動の得意、不得意に関係なく、全校で楽しみながら体力の向上につなげることも行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

(7)、教職員・保護者：学校は避難訓練、防犯教室、生活安全教室、交通安全教室をはじめ、子どもの安全を守るように努めていると思いますか。

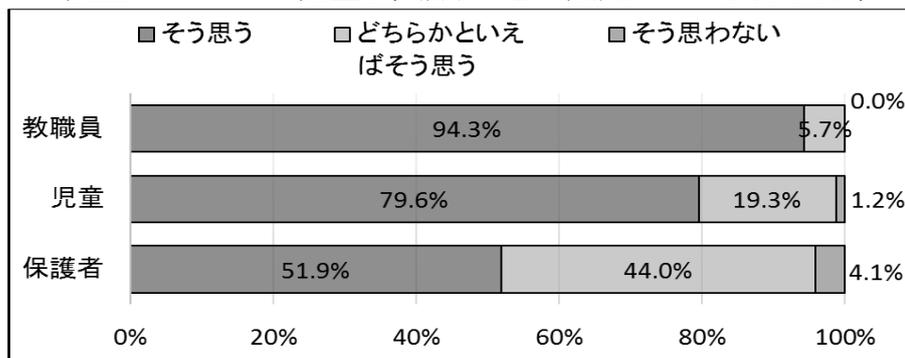
児童：あなたは、避難訓練、防犯教室、生活安全教室、交通安全教室などで、自分の身の守り方がわかりましたか。



児童自身が自分の身は自分で守れる力を身につけられるように、発達段階に応じた指導を心がけていることが、児童の肯定的評価が最も良かった一因であると感じます。教育課程の中で、消防署や警察署と連携して防災教育・交通安全教育、弾道ミサイルへの対応訓練等を実施し、各学級では不審者対策や急な事案への指導を行っています。登下校時の安全指導では、保護者や地域の皆様のご協力に感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

(8)、教職員・保護者：学校は、児童や保護者、地域の方々の話をていねいに聞こうとしていますか。

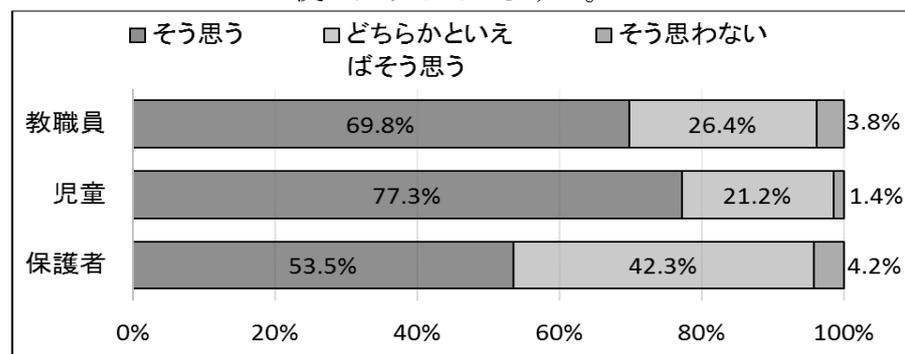
児童：先生は、悩みごとの相談にのってくれたり、いろいろな話を聞いてくれたりしますか。



児童・保護者ともに、過去5年間で向上を図ってきた項目です。もちろん、保護者の「そう思わない」の数字に表れた23名を忘れることなく、より教育相談しやすい環境づくりに取り組んだり、定期的にアンケートを実施して悩みごとの解消に努めたりしながら、今後も丁寧に対応していきたいと思ひます。何かありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

(9)、教職員・保護者：学校は、施設や設備等の教育環境を安全できれいに整えていると思ひますか。

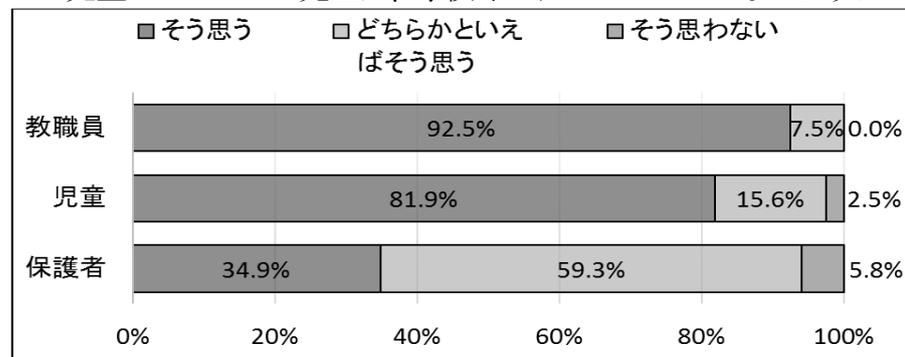
児童：あなたは、一生懸命にそうじをして学校をきれいにしようしたり、学校のものを大切に使ったりしていますか。



児童が一生懸命そうじに取り組んでいることがわかり、何よりもうれしく思ひます。施設・設備の老朽化に伴い、見た目に「きれい」と言えない点もありますが、教育委員会と協力して、一生懸命整備に努めています。おかげさまで今年も、ボランティアの皆様の協力により、窓清掃や除草・木の剪定、カーテンの洗濯等、大きな向上もありました。今後もより良い教育環境を目指し、安全面はもちろん、きれいな学校をめざしていきます。

(10)、教職員・保護者：学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思ひますか。

児童：先生は、学校やクラスでいじめがないようにしていますか。

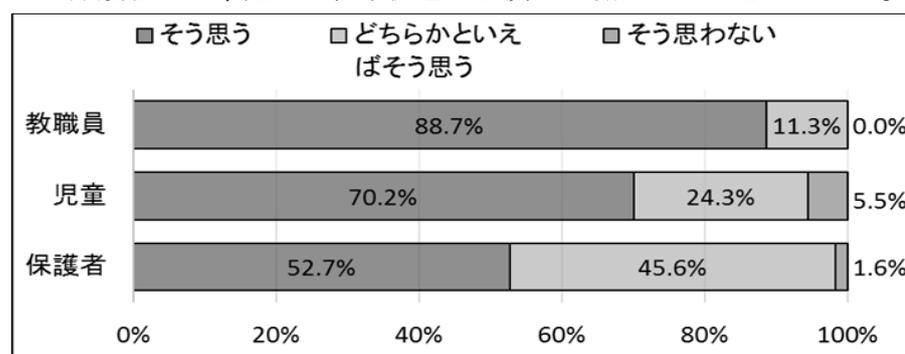


いじめのない学校づくりの設問では、例年保護者で心配される方の割合が、教職員や児童よりも多いことが顕著に見られます。学校では、いじめはいつでも、どこでも起こり得るものと認識しながら日々の教育活動を行うとともに、いじめ防止に特化した取り組みも行っています。それらを保護者の皆様にお知らせし、連携していくよう取り組んでいます。まだまだ不十分な面があったということだと思ひます。来年度の課題として受け止め、引き続き力を入れて取り組んでいきたいと思ひます。

(11)、教職員：保護者は、学校との連携に努力していると思ひますか。

児童：あなたは、おうちの人に学校の話をしたり、学校からの手紙をちゃんとわたしたりしていますか。

保護者：ご家庭では、学校との連携にご協力いただきましたか。



今回のアンケートで、保護者の肯定的な回答が最も高かった設問です。学校にご協力いただき、本当にありがたく感じます。また、昨年度以上に、地域学校協働本部コーディネーターの活動に助けられ、学校に足を運んでいただいた方が増えたことも一因と考えます。その一方、児童の「そう思わない」の5.5%は気になる数字です。指導を行っていくとともに、保護者の皆様への情報が行き届くような対策として、保護者メールの一層の活用を図っていきたく思ひます。

なお、設問内容は学校が目指すべき姿と考えております。その達成状況を昨年度と比較できるように、設問内容は昨年度と同じにしました。

2、全体を通して

下の表は、過去5年間の児童と保護者の回答について、肯定的な評価（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の数値を合わせたものです。特に児童については、多くの設問で、今年度がこれまでで最も良い結果となっています。

太字は保護者と児童が5年間で最も良い数字を表します

番号	項目 ※（ ）は児童の項目	回答者	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
(1)	楽しく学校に通っているか。	児童	93.5%	90.2%	92.0%	96.5%	96.7%
		保護者	95.1%	94.6%	95.0%	96.6%	97.1%
(2)	あいさつをよくしているか。	児童	89.8%	88.5%	91.0%	95.2%	94.8%
		保護者	86.2%	87.0%	76.7%	81.7%	81.0%
(3)	思いやりや社会性を育てようとしているか。 (約束を守り、友だちと協力しているか。)	児童	92.2%	93.2%	95.1%	96.4%	97.3%
		保護者	95.8%	98.1%	96.5%	98.0%	97.8%
(4)	わかりやすい授業を行っているか。	児童	92.4%	91.9%	95.9%	98.3%	99.0%
		保護者	90.4%	91.9%	94.1%	97.8%	97.3%
(5)	個の特性に応じた支援をしているか。 (気持ちや力に合った手助けや指導をしているか。)	児童			92.7%	97.7%	98.2%
		保護者			81.1%	88.6%	88.6%
(6)	運動会、持久走、部活動で体力や気力の向上に取り組んでいるか。 (体力や頑張る気持ちを身につけたか。)	児童	91.9%	91.2%	93.0%	93.4%	94.9%
		保護者	91.1%	90.4%	95.4%	97.2%	96.6%
(7)	子どもの安全を守るように努めているか。 (自分の身の守り方がわかったか。)	児童	94.9%	93.7%	96.1%	97.8%	99.1%
		保護者	95.1%	96.2%	97.1%	96.5%	96.4%
(8)	子ども、保護者、地域の話丁寧な聞きか。 (悩みごとの相談にのったり、いろいろな話を聞いてくれたりするか。)	児童	87.5%	88.0%	92.4%	97.0%	98.8%
		保護者	86.0%	91.9%	92.5%	96.2%	95.9%
(9)	教育環境を安全できれいに整えているか。 (一生懸命そうじして学校をきれいにしようしたり、学校のものを大切に使用したりしているか。)	児童	95.2%	94.6%	95.1%	98.5%	98.6%
		保護者	94.2%	94.3%	94.5%	96.2%	95.8%
(10)	いじめのない学校づくりに取り組んでいるか。	児童	90.1%	91.4%	93.7%	97.8%	97.5%
		保護者	83.6%	88.9%	88.9%	93.9%	94.2%
(11)	学校との連携に協力したか。 (学校の話をし、学校からの手紙をちゃんとわたしているか。)	児童	91.2%	89.5%	90.2%	94.3%	94.5%
		保護者	95.1%	95.5%	96.1%	98.0%	98.4%

今年度は、昨年度のアンケートの結果を受けて、学校経営のキーワードを「協同・協働」「発信」とし、保護者や地域の皆様と手を携えて教育活動に取り組んでまいりました。それらが今回のアンケートの結果に良い成果となって表れたと感じ、率直に良かったと思っています。

しかし、学校に楽しく通っていないと答えた約3.3%（26名）の児童を含め、各設問において「そう思わない」と回答した児童を見逃すことはできません。お子さんが生き生きと学校生活を送っていないのであれば、保護者や地域の皆様の学校への信頼が薄れてしまうと思います。「そう思わない」のゼロを目指し、より丁寧な指導、個に応じた寄り添った対応を、さらに進めていかなければいけないと考えています。引き続き保護者・地域の皆様のお力をいただきながら、より「地域に開かれた学校」を目指してまいります。

なお、学校経営に関するご意見・ご感想はいつでもお受けし、よりよい西初石小学校にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。